

「コロナを乗り越えよう!!」

釧路あすなるクラブ 市立病院に看板設置

経済研修団体「釧路あすなるクラブ」(中島康秀会長)は、新型コロナウイルス感染症に対応している医療従事者に感謝を伝えるため、市立釧路総合病院の駐

車場出入り口向かい(幣舞中学校敷地内)にメッセージ付きの看板を設置した。3日には同院に飲料504本を寄贈した。

同クラブは医療従事者への感謝とともに、釧路全体でコロナを乗り越えようというメッセージを地域住民にも伝えるため看板設置を決めた。飲料は体調管理のサポート用として、大塚製薬釧路工場で生産している

「ボディメンテ」を選んだ。この日は中島会長らが同院を訪れ、高平真院長に飲料を手渡した。高平院長は「コロナが長期化している中、職員の励みになる。大変ありがたい」と感謝。中島会長は「看板を見た方に、地域全体で戦ってほしい」と話していた。



(片山新平) 看板設置と飲料の寄贈を行った釧路あすなるクラブの中島会長(右から4人目)